

もくぞうあみだによらいざぞう
「木造阿弥陀如来坐像」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（彫刻） 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字上山田
- 所 有 者 個人
- 概 要 ひのきざいよせぎづく うるしはく ぎよくがんかんにゆう
松材寄木造り、漆箔、玉眼嵌入
寸法：像高 46 cm、頂～顎 16.5 cm、面幅 9.7 cm、面奥 11.9 cm
肩張 25 cm、胸厚 13.8 cm、肘張 30.8 cm、膝張 39 cm
膝奥 27 cm、坐高 8.2 cm
- 時 代 室町時代中期と推定
- 公 開 個人所有により非公開

上山田地区^{おおが}大鹿にある、小堂^{しょうどう}阿弥陀堂に安置されている仏像です。像高わずか 46 cm の小像ですが、螺髪^{らぼう}は小粒で整然としていて、髻も半球状、髪際も一文字で波形ではなく、像の側面を見るに背の張り、臀部^{でんぶ}の地付き部が張り、小像ながらどっしりとした安定感のある仏像です。銘文はありませんが、室町時代中期の製作と考えられます。

代々、鹿田同姓会によって保護されてきた像で、大鹿集落の住民が尊崇護持してきたものです。

